

岐阜支部 支部研修会 活動報告

1. 日時：平成21年 7月13日 14:00～16:00
2. 会場：穂積北中学校
3. 参加人数：16人
4. 司会：高田誠（研修担当：華陽小学校）
講師：露木 和男 先生（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

当初計画では長良小学校3年生加藤一郎先生の学級で「こん虫を調べよう」のモデル授業を露木先生に行っていただく予定であった。しかし、インフルエンザの影響で学校閉鎖になったため、急遽会場を穂積北中学校に移し、露木先生に講演をしていただいた。

内容

- 1 講演会「学びの価値を実感する授業 感性を育むために」
早稲田大学教育・総合科学学術院教授 露木 和男 先生
- 2 協議会
露木先生のお話に関わって・授業づくりの悩みや課題について・理科教育について
- 3 理科応募論文説明会
ソニー教育財団科学教育支援事業統括 武藤 良弘 様
ソニー教育財団統括主幹兼 SSTA 事務局長 渡辺 昭 様

活動の様子

会場が変更になるなどの理由で予定よりは人数が少なくなったが、平日にも関わらず、関市、土岐市、揖斐郡など広い地域から参加者が集まった。





露木先生の「学ぶ価値を自覚」するための「単元構成」「授業構成」はどうあるべきかという熱いお話にも、参加者は自分の現在の実践を振り返る機会が得られた。

特に「教材との出会い」を大切にす～「子供の論理を探る」というお話には、理科教師としての原点を示していただけた。

SSTA 岐阜支部は本年度再発足し活動を再開した。

小学校・中学校両者の会員が集まり、露木先生の貴重なお話から教育論・授業論を考えるとこのスタートの活動として、大変有意義な研修になった。